

令和5年度 洋光台地域ケアプラザPDCAシート公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

洋光台は住宅地(集合住宅と戸建て)と洋光台駅周辺の商業地からなり、高齢化率が磯子区平均を上回る31.8%となっています。高齢者世帯(単身世帯を含む)の割合も高く、消費者被害も多いことから、見守り支援など地域での支えあいの体制が課題となっています。コロナ禍前は高齢者の食事会や交流サロン、認知症カフェなどの活動が活発に展開されていましたが、緊急事態宣言、外出自粛などにより縮小・休止に至った活動もあります。また、エレベーターのない集合住宅や坂道も多く、高齢者や障害者の行動制限、脚力低下・フレイルの要因にもなっています。一方、集合住宅等には若い世代も多く、子育て支援や世代間交流の機会も必要となっています。この点についても、プレイパークやハロウィンイベント等の地域ぐるみの子育て支援や世代間交流を目的とした様々な活動が展開されています。一方で担い手不足の状況もあり、新たな担い手の育成も課題となっています。

市営住宅やUR団地の建て替えが始まり、新しい地域の通いの場も開始されるなど、町のリニューアルが進む中、地域ケアプラザとしてはコロナ後の地域活動支援に取り組みます。また、連携のとれた職員体制の構築、多様な個別相談対応にも力を入れていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	自治会・老人クラブのサロンや役員会、民児協の定例会等に積極的に出向き、勉強会等を共催します。UR団地生活支援アドバイザーとは、日々の個別相談対応で連携を図るとともに、地域特性を共有したうえで共催事業を企画します。
■	<input type="checkbox"/>	16自治町内会、地区社協等関係団体へヒアリングを行い、コロナ禍後の地域の現状や情報を聞き取り把握します。
■	<input type="checkbox"/>	磯子区地域子育て支援拠点いそぴよと共催し、「洋光台ちびっこひろば」を洋光台一丁目町内会館にて月1回開催します。北側の子育て世代やサポーターとなる人たちとの関係づくりを行います。
■	<input type="checkbox"/>	協議体を通じて、洋光台地区社会福祉協議会、磯子区社会福祉協議会と共に食の配分等に関わる具体的な取り組みについて検討します。
■	<input type="checkbox"/>	毎月第3火曜日にケアマネ相談室そらまめを実施します。民児協の定例会終了後に民生委員からの相談を受け付けます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域活動が少しずつコロナ前に戻る中、両COと地域包括職員の連携を心がけ、まずは新職員の人材育成と地域との関係づくりを念頭に業務にあたりました。地域の諸団体との協力のもと、今年度新たに移動図書館の招聘企画や食配分企画などにも取組みました。

- ・自治会・老人クラブ等への出前講座や民児協との勉強会、UR団地生活支援アドバイザーとの北・西団地での共催事業など、積極的に実施した。
- ・自治町内会、関係団体へのヒアリングは、情報の整理を行い1月より開始の予定。
- ・「洋光台ちびっこ広場」は、毎回平均4～5組の参加があり、関係づくりや情報交換の場として定着してきている。
- ・「大声deストレス発散しません会&もったいないマルシェ」を開催し、105名の参加があった。「洋光台おすそわけ便(個別食品配分)」には4世帯の申し込みがあった。
- ・相談窓口を開催した事でケアマネジャーからの相談が多く寄せられ必要な時は同行訪問等も行い支援した。また、民児協の定例会の後は相談員は居る事で様々な情報提供や相談を受ける事が出来た。

区からのコメント

地域包括職員と地域活動・生活支援の両コーディネーターが一体となり、各機関や団体と連携しながら様々な事業に取り組みました。継続事業に加えて、上記「振り返り」に記載の新規事業も展開し、地域のニーズに合わせて工夫して実施されています。引き続き区と連携しながら、地域の皆様の主体的な活動の促進・支援をお願いします。